

## 講演分野③(安全対策・人材定着編)

### 「安全な職場ほど人は辞めない～事故防止と人材定着を両立する現場づくり～」

---

#### 1 想定する対象者

- 建設業・製造業・物流業などの経営者・管理職
  - 安全大会における基調講座
  - 職長・現場リーダー・安全衛生担当者
  - 若手社員の定着や人材不足に課題を抱える企業
  - 現場のコミュニケーション改善に取り組みたい企業
- 

#### 2 本講座でお伝えすること

安全管理というと、多くの企業では

- 事故防止
- ルール遵守
- ヒヤリハット対策
- 安全教育

など、“身体的な安全”に焦点が当てられます。

もちろんそれは極めて重要です。

しかし近年の現場では、それだけでは事故も離職も防ぎきれなくなっています。

若手社員の離職理由を見ていくと、

- 「相談しづらかった」
- 「聞ける雰囲気ではなかった」
- 「放置されていた」
- 「失敗を責められるのが怖かった」

といった、“職場の空気”に関する声が数多く見られます。

実は、事故が少ない現場には共通点があります。それは、

- 困った時に声を上げやすい

- 小さな違和感を共有できる
- ミスや異変を隠さない
- 助けを求めやすい

という「心理的な安心感」が存在していることです。

本講座では、人材定着の視点から、安全管理と心理的安全性の関係を分かりやすく解説し、「人が辞めない現場」と「事故が起きにくい現場」に共通する組織づくりについてお伝えします。

### 3 主な内容

#### 「聞けない現場」が、事故と離職を生む

現場では、

- 「こんなことを聞いたら怒られる」
- 「迷惑を掛けたくない」
- 「ミスを報告しづらい」

という空気が、事故や離職につながる可能性があります。

事故防止と人材定着の根底には、共通して「安心感」が存在しています。

本講座では、以下のテーマについて具体的な事例を交えながら解説します。

- なぜ“相談しづらい現場”ほど事故が起きやすいのか
- 若手社員は「危険」より「放置」で辞めていく
- 「報連相」が止まる現場の共通点
- ミスを隠す職場と、共有できる職場の違い
- 現場リーダーの声掛けが安全意識を左右する
- 「叱る」と「萎縮させる」の違い
- 心理的安全性が事故防止につながる理由
- 人が辞めない現場に共通するコミュニケーションとは

安全な職場とは、単に事故が少ない職場ではありません。

「困った時に助けを求められる職場」であることが、これからの時代の安全管理には求められています。

本講座では、事故防止と人材定着を両立する現場づくりについて、実践的にお伝えします。

以上